

# 令和5年度 坂町議会『議員』の評価

評価期間

令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

評価実施者

折中 智 年齢 41 才 議員経験年数 1 年

評価日

令和 6 年 3 月 28 日

評価の分類

◎:「よくできた」 ○:「できた」 △:「努力が必要」 ×:「殆どできなかった」

主要評価項目	評価	評価理由	課題
<b>1. 議員活動の原則</b> 1) 議会において、特に、言論を尊重し、自らの発言に責任を持ち、意見を述べたか。	○	根拠のある意見を述べられたと考える。他の委員に理解されづらい場面があり改善に努める。	より一層専門用語を置き換えてわかりやすい発言につとめる。
2) 町民全体の代表者としての責務を深く自覚し、自己の能力を高める活動を積極的にしたか。	○	オンラインのセミナーや県内の他市町村議員との勉強会に参加した。	わかりやすい形で町民に還元していきたい。
3) 個別的な事案の解決だけでなく、町民全体の生活の向上を目指して活動したか。	○	あらゆる災害について、自然災害、周辺実態等不測の事態に備え、活動した。	マクロ視点になることがあったので、わかりやすい単語を使うよう努める。
<b>2. 自由討議の拡大</b> 町政の課題や議会改革の推進について、議員相互間の自由討議（質問、討論）により議論を尽くして合意形成に努めたか。	○	上記にもあるが、インフラ整備において発言できた。一方で、異なる意見の委員に対して、議事進行を優先し過ぎて発言が想定より若干少なかったので改める。	今後、なり手不足解消のため、兼業でも議員活動が可能な夜間休日議会開催等、議員報酬増額を可能な限りしない方向を模索していく。
<b>3. 議会費および政務活動費</b> 政務活動費の使途は適正かつ活動に有効に使われたか。また、議長に対して、証書類を添付した報告書を提出したか。	○	領収書を添付などして問題ないとする。	他市町村の事例と比較し、政務活動費の存在の是非・金額について今後考えていきたい。
<b>4. 選挙公約の評価</b>	○	狭路対策、鳥獣被害、地域猫等について前進した。給食費無償、インフラ整備については長時間かかるもので道半ばであり最大限行動していく。	前項で述べたものに加え、公約の実現について取り組む。